

学校だより 9月号



防災の日思う

校長 毛利 友紀

令和8年7月の熊本地震、8月の千葉豪雨、各地での被害の報に接し、心が痛む思いがいたしました。被災された皆様には心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。近年の地震や風水害などの災害状況を見るにつけ、いつどこで起きるか分からない上、私たちの想定を超える事態が起こり得ることを痛感させられます。災害は在宅時だけでなく、外出先で起こるかもしれません。私自身、能登半島地震の発生時は帰省の途中で北陸道のサービスエリアにおり、高速道路の通行止めによりその場で一夜を過ごすことになりました。自宅に備えをしていますが、外出先では非常持ち出し袋や備蓄品が手元にないことも考えられます。また、家族全員が一緒にいるとは限りません。その場所が安全なのかどうかも定かではありません。だからこそ、その時その場で一人一人がどう行動すべきかを判断する力を身に付けることが重要です。学校でも、より具体的な場面を想定した避難訓練や防災教育の重要性を改めて認識しております。

また、非常時の児童引き取りにつきましては、お迎えに来られる引き取り者の安全確保も心配です。特に豪雨の際は、自家用車等での来校は学校周辺道路が渋滞し、水没の心配や事故等の危険が伴います。お子様を引き取りに来られる場合には、状況がひとまず落ち着いてからお願いいたします。

災害発生時には、正しい情報を収集することも大切です。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、「川崎市防災ポータルサイト」では、防災無線放送の内容や、緊急情報の各種災害情報をリアルタイムに受信でき、発令中の避難情報や避難所情報（開設・混雑）を地図で確認できます。また、地図上で、洪水、土砂災害、津波、内水氾濫、高潮などの危険区域を示したハザードマップを確認できるようにもなっています。アプリ版もありますので、皆様のスマートフォン等へのご登録をお勧めします。

[川崎市防災ポータルサイト](https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/)<https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/>

アプリ版はこちらからご登録ください。



App Store



Google Play

7月18日には、地域の皆様が準備を重ねてくださった「ちよがおかなつまつり」が本校校庭で開催されました。多くの児童やご家族、卒業生、地域の方が集い、大変にぎやかな時間となりました。地域行事への参加を通じて「顔の見える関係」を築くことは、災害時などに助け合える「共助」の精神にもつながります。自分の身を守る「自助」と、互いに支え合う「共助」の大切さを、今後も地域とともに子どもたちへ伝えてまいりたいと思います。

さて、例年より少し長めの夏休みが明けました。各ご家庭では子どもたちがエネルギーを蓄え、充実した時間を過ごせるようにしてくださったことと存じます。夏休みの課題へのご協力もありがとうございました。事故等の連絡もなく無事に過ごせたことが何よりです。教職員は夏休み後半になると「子どもたちに早く会いたい」と話し、児童との再会を心待ちにしておりました。一方で、休み明けは気持ち不安定になりやすい時期でもあります。学校では全教職員が一丸となって児童を見守り支援していくとともに、児童からのSOSをキャッチできるよう各フロアに「ほっとポスト」を増設しております。ご心配な点がございましたら遠慮なくご相談ください。9月末の三者面談でも、お子様のがんばりや課題について共有させていただければと存じます。学校と家庭で情報を共有して、子どもたちを育てていきたいと思っております。

夏休み中にはA棟1・2階の再生整備工事が概ね完了しました。地域の皆様にはご不便やご迷惑をおかけしました。内装や手洗い場、エアコンなどが新しくなり、より快適な環境で学校生活を送ることができるようになっております。

9月からは水泳学習が始まります。今年度は水泳の保護者ボランティアの皆様にも心肺蘇生法やAED研修に教職員と一緒にご参加いただきました。ご協力に感謝申しあげます。今後も子どもたちが安心・安全に学校生活を送れるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

「あ、そうっか 麻生区長寿日本一」9月号(麻生区役所地域みまもり支援センターより)

夏も終わりに近づいて、「寝苦しい」と思うことも少なくなってきたのでは? そこで、良い睡眠のコツを伝授します。

- ①起床時刻を固定する ②朝の光を浴びる ③寝室を涼しく保つ ④就寝前1時間はスマホを使わない
しっかり休んで、今年の秋を充実させましょう。